

せいきょう連ニュース

岡山県生活協同組合連合会 TEL : 086-230-1315 HP : <http://okayama.kenren-coop.jp/>

第55回岡山県生協連通常総会を開催しました。

6月24日(火)オルガホールにて、県生協連第55回通常総会を開催致しました。出席状況は、代議員総数62名に対して、実出席53名、書面出席8名、委任状0 出席率は、98.3%となっています。

和泉かよ子理事が司会を行い、議長に県労済生協口羽代議員、岡山医療生協山崎代議員を選出して議事にはいりました。県生協連近藤会長から、被災地支援や消費税増税、医療・介護総合法案、消費者行政にふれて挨拶を行いました。

来賓として、岡山県県民生活部くらし安全安心課課長岡野千鶴さんから、伊原木知事のメッセージとして、ポストIYCの取り組み、晴れの国おかやま生き生きプランの策定や教育県の復活、消費者教育にふれて挨拶が行われました。

岡山県労福協会長石田一さんから、くらしを取り巻く環境、よりよい組織を孫の代に残すこと、被災者への支援政策、人と人の支えあい・助け合いが社会の基本となること、協同組合の発展などにふれ挨拶をされました。日本生協連中四地連黒木さんから、日本生協連の中期計画策定や被災地支援の取り組み、県連の組合員活動交流集会、行政合同会議の取り組み、消費者ネットの事務局としての役割にふれながら挨拶をされました。



県生協連近藤会長

ご来賓のみなさま

公私ともにご多忙の中、ご臨席いただきましたご来賓の皆様、祝電、メッセージ等をお寄せ頂きました多くの方々にお礼を申し上げます。



岡山県県民生活部くらし安全安心課
課長 岡野 千鶴氏



岡山県労働者福祉協議会
会長 石田 一氏



日本生協連中四国地連
黒木 勉氏

続いて議案について、近藤会長から一括提案が行われました。

第1号議案 2013年度事業報告書および決算関係書類承認の件

第2号議案 2014年度事業計画および予算決定の件

第3号議案 役員(補充)選任の件

第4号議案 役員報酬決定の件

ごあいさつ

県生協連 会長理事 近藤 清志

日頃から県生協連へのご支援、活動への参加を賜り、お礼申し上げます。県生協連第55回通常総会が終了し、具体的な活動がスタートします。今年度も県生協連としての重点テーマは「安心して暮らすことができる地域づくり、まちづくり」となります。

少子高齢化社会の進展、地域でのコミュニティの崩壊や人と人との結びつきが弱まり、孤立する高齢者の存在や相談相手がいないお母さんなど、社会全体の課題となっています。同時に私たち生協の共通する課題でもあり、厚生労働省からも、地域における生協の役割として期待されています。一方この問題は生協だけで解決できるものではなく、行政や全ての団体との連携が不可欠となります。この1年、それぞれとの関係づくりが進んでいくように会員生協とともに取り組んでいきます。今年度もよろしくお願いします。

県連総会では4人の代議員から 取り組みや活動報告が行われました。

岡山大学生協

大庭愛花代さん

「ミールカードの食事履歴を通じた
保護者との関係づくりについて」



三井造船生協

藤原キヌ子さん

「三井造船生協家庭会の
活動について」



倉敷医療生協

水島麻衣子さん

「2013年度の活動報告と
2014年度重点課題」



おかやまコープ

安東延江さん

「地域づくりへの参加の
取り組み」



議長が全体を通しての意見・質問を求めましたが、発言者はありませんでした。

会場発言の後、採択を行い、全ての議案について、反対、保留はなく、賛成多数で可決しました。



新任理事 右から馬崎さん、
佐々木さん、藤原さん

最後にこの期、理事を退任された三井造船生協 原田美智子さんの紹介、そして新たに理事に就任された方の紹介を行い、終了しました。



●新理事

県労済生協 専務理事 馬崎健一さん、
グリーンコープ生協おかやま 専務理事 佐々木和宏さん
三井造船生協 理事 藤原キヌ子さん

岡山県生協連 2014 年度課題について

少子高齢化の進行は、中山間地や都市部でもコミュニティの崩壊や暮らしそのものが成り立たない地域も現れています。貧困と格差の問題や高齢者を狙った消費者被害が後を絶たない中、組合員の暮らしを守り、だれもが安心して暮らせる地域社会の実現は私たちの切実な願いであり、行政や他団体との連携や協同の取り組みが不可欠となっており、そのための関係づくりを重点として進めていきます。また協同組合間連携を継続し生協の社会的な認知を高める取り組みを進めていきます。県生協連の場では、学習と会員生協間の交流、連携がさらに進んでいくことを大切に取り組みます。

1. ときどきの重要なテーマにもとづき、会員生協の組合員、職員、役員が参加する各種の学習・研修交流等に取り組みます。
2. 行政、議会、他団体（協同組合、消費者団体、市民団体など）との交流や懇談を通して信頼関係を強め、協同組合の価値や役割を広げていきます。
3. 身近な暮らしにかかわる食の安全、消費者被害、環境、福祉、防災、まちづくりとともに平和、社会保障と税、憲法などについて、日本生協連や消団連・NPO 法人消費者ネットおかやまなどと連携して学習や取り組みを行ないます。
4. 生協間相互の、また会員生協共通の情報交換の場を有効に活かし、学習と実践を通して、生協連帯のメリットを最大限発揮します。

NPO法人消費者ネットおかやま

第7回通常総会が開催され、全議案が採決されました

2014年6月7日(土)第7回通常総会を開催しました。消費者ネットおかやま河田英正理事長より、「設立して7年間が経過、今年度は適格消費者団体を実現する年度、実績づくりをしっかりと行っていくこと」など開会挨拶が行われました。



くらし安全安心課 岡野課長

続いて来賓として、岡山県県民生活部くらし安全安心課課長岡野千鶴さんから、「消費者行政の推進への協力、被害防止の取り組みへの感謝、県の消費者被害未然防止事業としてサポーター講座を実施している。また消費者教育推進計画を策定。消費者被害の手口が多様化、自立した消費者にむけ連携して取り組みをすすめていきたい」ことの挨拶が行われました。河端事務局長より、差止訴訟の前提となる申入れを行う取り組みが2013年度から始まっていること、消費生活サポーター講座を昨

年に続いて、受託することが出来たこと、2013年度会員状況、なんでも相談会の取り組み状況や決算関係、定款変更は、適格消費者団体をめざす上で必要な改定を行うこと、2014年度は申請を行うことなど一括して議案提案が行われました。小田監事から、決算関係書類は問題がないこと、理事の職務の執行、特に2014年度には適格消費者団体の申請を行うことなど前進していることも含めた監査報告が行われました。その後各議案ごとに採決が行われ、全ての議案が賛成多数で採決されました。



河田理事長



2014消費者月間講演会を開催しました。

「食の偽装問題と食品表示法・景品表示法」をテーマに、消費者月間講演会を、6月7日NPO法人消費者ネットおかやまと岡山県消団連との共催で開催しました。当日は土曜日の午後にも係らず13団体76名の参加で開催することが出来ました。

県消団連竹田幹事が司会となり開会宣言のあと、県消団連近藤代表幹事から、昨年不適切なメニュー表示や食品偽装問題が発生したこと、景品表示法の一部改正が参議院で可決し、表示問題に関して県へ権限が付与され、身近なところで解決できることなど開会挨拶を行いました。

消費者庁食品表示の委員等をされているFOOCM.NETの森田満樹さんから、講演をして頂きました。



講師 森田満樹さん

アクリフーズの件では、生協は公告ですぐに対応していたが、記号のみで、製造会社が分からずに、回収が遅れた大手流通事業者があった。

「いわゆる健康食品」について、表現は思わせ表示となっており、具体的に出せるのは特保だけ。一方政府の規制改革会議では、第3の健康食品をつくる方向で検討されている。加工食品における義務表示や栄養表示はこれまで任意となっていたが、2020年までに義務表示となる。また、食品表示で禁止されている表示例をもとに、原産地の偽装表示、健康食品の不当表示、健康機器の不当表示や薬事法違反、メニュー表示の誤表示問題について、具体的な事例により解説されました。外食メニューは景品表示法の対象となること、優良誤認・有利誤認の内容やガイドラインについての話がありました。食品表示法の表示基準は現在検討中であること、原料原産地表示、中食、外食のアレルギー表示など、今後の検討課題となっていることなど現段階での検討状況について報告頂きました。大変分かりやすく、「日頃意識していなかった食品の表示法が私たち消費者にとって何故大切なのかということを考えることができ、本当に来て良かったと思いました。これからは、身の回りにある食品にもっと目をむけて暮らしていこうと思います。ありがとうございました。」などの声が寄せられるなど、食品表示に関する具体的事例をもとに講演して頂き、とても勉強になりました。



